

三 宮 十五郎 議員



談合に毅然と対応し  
市民の財産を守れ

質 三宮議員

談合問題について

(1) 7月21日の中日新聞に

「全国で、市民運動やオンブズマンが談合防止に頑張っているが、本来は行政の責任で積極的に対応すべきだ」という趣旨の社説が掲載され、その日、私たちは海部地区環境事務組合に対して、三菱重工業等に八穂クリーンセンター建設工事の談合による損害賠償を行うことを求める住民監査請求を行いました。

その後、組合は29億円余の損害賠償請求を行いました。勝利するためには、組合が本気で取り組むかどうかにかかっています。

今後、組合が訴訟に入るなら、弁護士会の規定料金では6300万円の着手金が必要で、勝った場合はそ

の2倍の成功報酬を払うことになっていきますので、組合と市民の財産・税金を有効に使うために、能力の高い弁護士を選ぶなど積極的に取り組んでいただけませんか。

(2) 名古屋市は談合違約金を20%に引き上げていますが、当市も組合も同じようにすべきではないですか。

(3) 17年度の弥富町の工事入札は、市内有資格30事業者のうち16事業者は一度も指名されていません。

弥富中学校の改築工事の入札も、市の制限が厳しく少数の事業者しか参加できず、予定価格の95〜96%で落札されています。

公正さが失われ、談合の疑いを受けるものではないですか。

(4) 今年度から、受注者が

出す市の工事看板に「発注者 弥富市長 川瀬輝夫」と書かれています。公職選挙法で名刺・広告禁止など表名行為の規制が広がっていますので、あるべき姿にすることが、信頼される弥富市になっていく土台になるのではないですか。

幅広く公正な指名を心掛けている

答 川瀬市長

(1) 海部地区環境事務組合の件については、先日、業者に対して損害賠償請求を行いました。まだ裁判には入っていませんので、結果等が出たときには皆さんにご報告します。

組合議会でも答弁させていただきますが、今後、こういうことがないように入札の方法をあらためていきたいと思えます。

答 加藤助役

(2) 当市は、談合違約金を

10%で交わっています。

(3) 入札指名業者については、指名願が出ている中で、幅広く公正に指名するよう心掛けています。また、地元業者を優先して指名するなど、地元業者の育成を心掛けています。

中学校の改築工事は、制限付き一般競争入札で行いましたが、結果的に7社の申し出しかありませんでした。一般競争入札は今回が初めてですので、今回の例を参考に制限の在り方を考慮して進めていきます。

(4) 工事看板については、基本的なひな型を業者に指示しており、その範囲内で各項目が書かれていると思います。通常の動きのことですのでご理解願います。

